

特定非営利活動法人 海洋音響学会

平成 29 年度（2017 年度）総会資料

通常総会・表彰式・懇親会

月 日 平成 29 年 5 月 24 日（水）

場 所 東京工業大学蔵前会館ロイヤルブルーホール

◇第 14 回通常総会（通算第 45 回） (13 : 00 ~ 13 : 30)

次第

1. 開会
2. 議長の選任
3. 審議事項
 - 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告, 収支・監査報告（資料 1~3, 別紙 1）
 - 第 2 号議案 平成 29 年度事業計画及び収支予算について（資料 4~5）
 - 第 3 号議案 平成 29, 30 年度役員を選任について（資料 6, 別紙 4）
 - 第 4 号議案 名誉会員の推薦について（資料 7）
4. 議事録署名人の選任
5. 会長挨拶
6. 閉会

◇第 41 回表彰式 (13 : 30 ~ 13 : 50)

- ・ 名誉会員証贈呈
- ・ 論文賞贈呈（別紙 2）
- ・ 中西賞関連（別紙 3）

◇懇親会 (18 : 00 ~ 20 : 00)

平成 28 年度（2016 年度）事業報告（案）

1 全般状況

(1) 会員の状況

区 分	平成 27 年度末	平成 28 年度末	備 考
名 誉 会 員	14 名	15 名	定期購読者： 4 機関（28 年度）
終 身 会 員	8 名	8 名	
通 常 会 員	289 名	287 名	
賛 助 会 員	29 社 45 口	29 社 44 口	

(2) 第 13 回通常総会

平成 28 年 5 月 19 日（木）13:00～13:30

東京大学生産技術研究所コンベンションホールにおいて出席者 193 名（内、表決委任者 128 名）にて開催した。

審議事項

議長の選任

第 1 号議案 平成 27 年度事業報告、収支・監査報告
(資料 1～3 参照)

第 2 号議案 平成 28 年度事業計画及び収支予算について
(資料 4, 5 参照)

第 3 号議案 名誉会員の推薦について
(資料 6 参照)

第 4 号議案 定款の変更について
(資料 7 参照)

議事の概要及び議決の結果

議長の選任

司会者より、蜂屋弘之氏の議長選任を諮り、全員異議なくこれを承認した。

第 1 号議案 平成 27 年度事業報告、収支・監査報告

議長より、平成 27 年度事業報告書及び平成 27 年度収支・監査報告書を配布し、報告したところ、全員異議なくこれを承認した。

第 2 号議案 平成 28 年度事業計画及び収支予算について

議長より、平成 28 年度事業計画書案及び平成 28 年度収支予算書案を配布し、詳細に審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

第 3 号議案 名誉会員の推薦について

議長より、定款第 6 条に基づき海洋音響に関する学問及び技術に関して功績顕著で海洋音響学会の目的達成に多くの貢献のあった中村敏明氏を名誉会員としたい旨を諮り、審議の結果、全員異議なくこれを承認した。

第 4 号議案 定款の変更について

議長より、特定非営利活動法人海洋音響学会定款の変更案を配布し、逐次審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

(3) 第40回表彰式

総会に引き続き東京大学生産技術研究所コンベンションホールにおいて開催した。
論文賞贈呈
以下の者に論文賞を贈呈した。

題目 Underwater Acoustic Communication With an Orthogonal Signal
Division Multiplexing Scheme in Doubly Spread Channels

受賞者 (所属) 海老原 格 (筑波大学)
水谷 孝一 (筑波大学)

掲載誌 IEEE J. Ocean. Eng., Vol. 39, No. 1, pp. 47-58, Jan. 2014

中西賞贈呈

以下の者に中西賞を贈呈した。

題目 マルチビームソナーEM302で取得した海底音響画像による熱水鉱床域での底質
判別クラスタリング手法の検討

受賞者 (所属) 片瀬 冬樹 (東京大学)
水野 勝紀 (東京大学)
小島 光博 (東京大学)
松田 健也 (国際航業株式会社)
浅田 昭 (東京大学)

掲載誌 海洋音響学会 2015年度(平成27年度)研究発表会講演論文, pp. 41-44, May 2015

功労者表彰

学会運営に関わる実務を担当し、本学会の発展に貢献した以下の者について功労者表彰を行った。

半谷 肇

(4) 理事会

年度中4回開催し、会の活動と経理の状況を把握しつつ随時所要の対策を講ずるほか、総会の決定に従い本会運営の基本に関する事項を審議決定し、各委員会との連絡を密にして事業の円滑化を図った。

(5) 執行理事会

理事会を補佐し、本学会の全体運営に関わる業務について効率的かつ十分な審議と迅速な執行を目的とし、年度中7回開催し、規程類の変更・制定、総務、会計に関する審議を行った。

2 事業の概況

事業内容は資料2「事業報告書」による。なお、詳細は別紙1による。

書式第 1 2 号 (法第 2 8 条関係)

平成 28 年度 事業報告書 (案)

平成 28 年 4 月 1 日から 平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業の成果

平成 28 年度は、特定非営利活動法人として次の事業を行った。

- 第 1. 海洋音響に関する学術調査研究事業として、「水中音響における可視化技術部会」および「全周ソナーの標準データフォーマット研究部会」を開催した。
- 第 2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業として、研究発表会の開催、会誌の発行と、シンポジウム、談話会、講演会、技術講習会を開催したほかホームページを活用し情報の提供を行った。
- 第 3. 海洋音響に関する奨励事業として、前年度の優秀論文および功労者の表彰をしたほか、優秀論文、優秀業績の表彰候補選考を行うと共に、中西賞の表彰推薦候補選考を行った。
- 第 4. 海洋音響に関する企画交流促進事業として、企画運営委員会を開催したほか、日本海洋工学会等と交流した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
学術調査研究事業	「水中音響における可視化技術部会」を 4 回開催した。	6 月 3 日 9 月 2 日 12 月 16 日 3 月 13 日	東京都目黒区	25 人	海洋音響に関心のある者 約 15 人	238
学術調査研究事業	「全周ソナーの標準データフォーマット研究部会」を 4 回開催した。	9 月 12 日 12 月 16 日 3 月 10 日 3 月 29 日	東京都港区	25 人	海洋音響に関心のある者 約 30 人	67
普及啓蒙事業	会誌 162、163、164、165 号を発行した。	4 月 1 日 7 月 1 日 10 月 1 日 1 月 1 日	法人事務所	19 人	海洋音響に関心のある者 約 450 人	3,959
普及啓蒙事業	「広帯域海洋音響探査技術部会報告書」を出版した。「海洋音響の基礎と応用」を増刷した。	11 月 18 日	東京都目黒区	20 人	海洋音響に関心のある者 約 250 人	860
普及啓蒙事業	研究発表会を開催した。	5 月 19 日 ～20 日	東京都目黒区	20 人	海洋音響に関心のある者 約 250 人	972
普及啓蒙事業	シンポジウムを 5 回開催した。	6 月 22 日 11 月 18 日 11 月 22 日 1 月 24 日 2 月 6 日	東京都目黒区	10 人	海洋音響に関心のある者 約 40 人	677

普及啓蒙事業	談話会を2回開催した。	6月22日 8月25日	東京都 目黒区	10人	海洋音響に 関心のある者 約25人	281
普及啓蒙事業	講演会を1回開催した。	10月5日	大阪府 吹田市	5人	海洋音響に 関心のある者 約30人	72
普及啓蒙事業	「音響の基礎(全般)」をテーマに技術講習会を開催した。	12月13日 ～14日	東京都 目黒区	6人	海洋音響に 関心のある者 約90人	207
普及啓蒙事業	ホームページ運用を通じて活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供した。	随時	法人 事務所	8人	一般市民 不特定多数	235
奨励事業	海洋音響に関する優れた研究開発成果を表彰した。次年度に海洋音響に関する研究開発の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催した。	5月19日 (表彰) 11月4日 2月9日 3月27日 (委員会)	東京都 目黒区	12人	海洋音響の 研究者 約10人	364
企画交流促進事業	企画運営委員会を4回開催すると共に、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催を行った。	4月18日 6月28日 11月14日 2月7日	東京都 目黒区	25人	海洋音響に関 心のある者 不特定多数	184

書式第13号（法第28条関係）

平成28年度 活動計算書
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会
(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
通常会員受取会費	1,578,000	
賛助会員受取会費	7,920,000	9,498,000
2 事業収益		
(1) 学術調査研究事業収益	0	
(2) 普及啓蒙事業収益	965,105	
(3) 奨励事業収益	0	
(4) 企画交流促進事業収益	0	965,105
3 受取補助金		0
4 受取寄附金		0
5 その他収益		
雑収益	70,319	70,319
経常収益計		10,533,424
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	59,000	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
人件費計	59,000	
(2) その他経費		
事務委託費	494,839	
消耗品費	68,915	
通信運搬費	462,476	
旅費交通費	747,969	
印刷製本費	4,181,907	
会議費	1,581,005	
謝金	511,993	
雑費	7,498	
その他経費計	8,056,602	
事業費計		8,115,602
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
事務委託費	2,601,993	
消耗品費	85,598	
通信運搬費	168,941	
旅費交通費	335,420	
印刷製本費	70,837	
会議費	149,264	
謝金	0	
雑費	35,412	
その他経費計	3,447,465	
管理費計		3,447,465
経常費用計		11,563,067
当期経常増減額		△ 1,029,643
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 1,029,643
法人税、住民税及び事業税		0
前期繰越正味財産額		18,870,477
次期繰越正味財産額		17,840,834

書式第15号（法第28条関係）

平成28年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会

（単位：円）

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	11,762,367		
未収金	1,750		
前払費用	36,000		
流動資産合計		11,800,117	
2 固定資産			
基本財産	6,535,467		
固定資産合計		6,535,467	
資産合計			18,335,584
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	470,750		
前受会費	24,000		
預り金	0		
流動負債合計		494,750	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			494,750
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		18,870,477	
当期正味財産増加額		△ 1,029,643	
正味財産合計			17,840,834
（うち基本財産）			(6,535,467)
負債及び正味財産合計			18,335,584

書式第17号(法第28条関係)

平成28年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録
平成29年3月31日現在特定非営利活動法人 海洋音響学会
(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
学会手許金	35,263	
普通預金(みずほ銀行高田馬場支店)	10,456,024	
普通預金(みずほ銀行高田馬場支店・事務局)	314,306	
郵便振替(ゆうちょ銀行高田馬場支店)	956,774	
未収金	1,750	
前払費用	36,000	
流動資産合計		11,800,117
2 固定資産		
基本財産		
定期預金(三菱UFJ信託銀行本店営業部)	6,535,467	
固定資産合計		6,535,467
資産合計		18,335,584
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	470,750	
前受会費/2017年度会費	24,000	
預り金	0	
流動負債合計		494,750
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		494,750
III 正味財産の部		
繰越正味財産 (うち基本財産)		17,840,834 (6,535,467)

監査の結果、重要な点において適正に表示しているものと認める。

平成29年 4月 6日

監事 深見 明久 印

監事 後藤 英親 印

平成28年度正味財産17,840,834円は全額次年度に繰越すこととする。

平成28年度 計算書類の注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科 目	学術調査研究事業	普及啓蒙事業	奨励事業	企画交流促進事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	9,498,000	9,498,000
2. 事業収益	0	965,105	0	0	965,105	0	965,105
3. 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0
4. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
5. その他収益	0	0	0	0	0	70,319	70,319
経常収益計	0	965,105	0	0	965,105	9,568,319	10,533,424
II 経常費用							
(1) 人件費							
臨時雇賃金	0	53,000	6,000	0	59,000	0	59,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	53,000	6,000	0	59,000	0	59,000
(2) その他経費							
事務委託費	0	494,839	0	0	494,839	2,601,993	3,096,832
消耗品費	0	3,295	65,620	0	68,915	85,598	154,513
通信運搬費	0	447,974	14,502	0	462,476	168,941	631,417
旅費交通費	233,022	246,147	94,000	174,800	747,969	335,420	1,083,389
印刷製本費	80	4,181,827	0	0	4,181,907	70,837	4,252,744
会議費	61,790	1,327,442	182,775	8,998	1,581,005	149,264	1,730,269
謝金	10,000	501,993	0	0	511,993	0	511,993
雑費	864	5,770	864	0	7,498	35,412	42,910
その他経費計	305,756	7,209,287	357,761	183,798	8,056,602	3,447,465	11,504,067
経常費用計	305,756	7,262,287	363,761	183,798	8,115,602	3,447,465	
当期経常増減額	△ 305,756	△ 6,297,182	△ 363,761	△ 183,798	△ 7,150,497	6,120,854	△ 1,029,643

3. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,534,706	761	0	6,535,467
合 計	6,534,706	761	0	6,535,467

書式第 8 号 (法第 10 条・第 25 条関係)

平成 29 年度 事業計画書 (案)

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業実施の方針

平成 29 年度は、長期的展望に立って、海洋音響及びこれに関連のある諸科学の一層の振興を図るために、次の方針にしたがって活動する。

- 第 1. 海洋音響に関する学術調査研究事業を行う。
- 第 2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業を行う。
- 第 3. 海洋音響に関する研究開発の奨励事業を行う。
- 第 4. 海洋音響に関する企画交流促進事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予定額(千円)
学術調査研究事業	「水中音響における可視化技術部会」を開催する。	11 月	石川県野々市市白山市	25 人	海洋音響に関心のある者 約 30 人	600
学術調査研究事業	「全周ソナーの標準データフォーマット研究部会」を開催する。	6 月 9 月 12 月 3 月	東京都港区	25 人	海洋音響に関心のある者 約 30 人	150
普及啓蒙事業	会誌を定期発行する。	4 月、7 月 10 月、1 月	法人事務所	20 人	海洋音響に関心のある者 約 450 人	4,150
普及啓蒙事業	「水中音響における可視化技術部会報告書」を出版する。「海洋音響の基礎と応用」を増刷する。	10 月	法人事務所	35 人	海洋音響に関心のある者 約 450 人	1,100
普及啓蒙事業	水中音響に関する書籍の改定について検討する。	3 月	東京都目黒区	20 人	海洋音響に関心のある者 約 250 人	200
普及啓蒙事業	研究発表会を開催する。	5 月	東京都目黒区	20 人	海洋音響に関心のある者 約 250 人	1,000
普及啓蒙事業	国際化を目指し外国人講師を招き講演会を開催する。	11 月	東京都目黒区	10 人	海洋音響に関心のある者 約 50 人	200
普及啓蒙事業	シンポジウムを年 3 回程度、談話会を年 3 回程度開催する。	6 月、8 月 10 月、1 月 2 月、3 月	東京都目黒区	10 人	海洋音響に関心のある者 延べ約 200 人	1,000
普及啓蒙事業	技術講習会を開催する。	12 月	東京都目黒区	10 人	海洋音響に関心のある者 約 50 人	300
普及啓蒙事業	ホームページを運用し、活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供する。	随時	法人事務所	8 人	一般市民 不特定多数	300

奨励事業	海洋音響に関する優れた研究開発成果を表彰する。 次年度に海洋音響に関する研究開発の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催する。	表彰:5月 委員会:随時	東京都 目黒区	12人	海洋音響の 研究者 若干名	400
企画交流促進 事業	事業の企画会議の開催並びに、国際化に関する検討、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催を行う。	随時	東京都 目黒区	25人	海洋音響に 関心のある者 不特定多数	200

書式第9号（法第10条・第25条関係）

平成29年度 活動予算書（案）

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会

（単位：円）

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
通常会員受取会費	1,740,000	
賛助会員受取会費	7,920,000	9,660,000
2 事業収益		
(1) 学術調査研究事業収益	0	
(2) 普及啓蒙事業収益	850,000	
(3) 奨励事業収益	0	
(4) 企画交流促進事業収益	0	850,000
3 受取補助金		0
4 受取寄附金		0
5 その他収益		
雑収益	90,000	90,000
経常収益計		10,600,000
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	199,000	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
人件費計	199,000	
(2) その他経費		
事務委託費	420,000	
消耗品費	308,000	
通信運搬費	484,500	
旅費交通費	1,309,500	
印刷製本費	3,922,500	
会議費	1,960,000	
謝金	990,000	
雑費	6,500	
その他経費計	9,401,000	
事業費計		9,600,000
2 管理費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
事務委託費	2,790,000	
消耗品費	60,000	
通信運搬費	200,000	
旅費交通費	350,000	
印刷製本費	150,000	
会議費	300,000	
雑費	50,000	
その他経費計	3,900,000	
管理費計		3,900,000
経常費用計		13,500,000
当期経常増減額		△ 2,900,000
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 2,900,000
法人税、住民税及び事業税		0
前期繰越正味財産額		17,840,834
次期繰越正味財産額		14,940,834

平成 29, 30 年度 (2017, 2018 年度) 役員の選任について

1. 平成 29, 30 年度理事 (案)

理 事 (20 名)

赤松 友成	土屋 健伸
浅田 昭	南利 光彦
甘糟 和男	蜂屋 弘之
太田 和彦	浜 芳典
小笠原 英子	松本 さゆり
小河 慎二	向井 徹
越智 寛	森 和義
川崎 良道	吉江 宗生
澤田 浩一	吉武 宣之
澤田 信一	渡辺 好章

2. 平成 29, 30 年度会長および副会長候補 (選挙結果報告)

会 長	蜂屋 弘之
副会長	渡辺 好章
	川崎 良道

3. 平成 29, 30 年度監事 (案)

監事	後藤 英親
	深見 明久

名誉会員の推薦について(案)

海洋音響技術および海洋音響学会の発展に功績のあった下記の者を名誉会員とする。

遠藤 信行

平成 28 年度(2016 年度)事業内容

- 研究発表会
 - (5/19, 20 東京大学生産技術研究所 コンベンションホール)
 - 特別講演 建設分野における水中施工と音響機器の活用
泉 信也 (土木学会建設用ロボット委員会)
 - 優秀論文発表賞の贈呈：
 - ア. 講演の部
 - 題目 AUV 搭載用のパラメトリックサブボトムプロファイラー開発と音響データの可視化手法の検討－1 次波と 2 次波の減衰に関する考察－
 - 発表者 水野 勝紀 (東大生研)
 - 題目 海底地殻変動観測における傾斜音速場の影響とその軽減手法の検討
 - 発表者 横田 祐輔 (海上保安庁海洋情報部)
 - イ. ポスターの部 (ベストポスター賞)
 - 題目 マルチビーム音響測深機で取得した海底音響画像による熱水鉱床域での画像特徴量の比較
 - 発表者 片瀬 冬樹 (東大生研)
- 談話会
 - 第 1 回 (6/22 東京大学生産技術研究所 S 棟プレゼンテーションルーム)
 - 「Underwater Acoustic Communication With an Orthogonal Signal Division Multiplexing Scheme in Doubly Spread Channels」 海老原 格 (筑波大)
 - 「マルチビームソナー EM0302 で取得した海底音響画像による熱水鉱床域での底質判別クラスタリング手法の検討」 片瀬 冬樹 (東大生研)
 - 第 2 回 (8/25 東京工業大学 蔵前会館ロイヤルブルーホール)
 - 電子情報通信学会超音波研究会, IEEE UFFC Society Japan Chapter と共催
 - 主題：水中音響, 一般
 - 「高速ビームフォーミングと高速信号処理を駆使した高速且つ高精度なイメージングおよび変位計測 (その 3)」 炭 親良 (上智大)
 - 「波のある海面での音波反射特性の FDTD 法による評価」
津久井 智也, 澤田 信一 (IHI), 平田 慎之介, 蜂屋 弘之 (東工大)
 - 「円筒状プリントヘッド中を伝搬する進行波のインク滴生成からの観察～水中音速の測定とその特異点について～」 森田 直己 (富士ゼロックス)
 - 「横須賀走水港で観測した突発性雑音の統計解析」
四方 慶一, 森 和義, 小笠原 英子 (防衛大)
 - 「広角映像向け分極反転配列送波器の近距離音場特性」
佐藤 智夫, 虹川 和紀 (港空研), 土屋 健伸, 遠藤 信行 (神奈川大)
片倉 景義, 松本 さゆり (港空研)
 - 「大出力音源が海棲ほ乳動物等に与える影響と緩和基準の関係」
平井 由季乃 (東京海洋大), 土屋 利雄 (JAMSTEC/東京海洋大)
後藤 慎平 (東京海洋大/JAMSTEC), 清水 悦郎 (東京海洋大)
布田 浩二 (三菱プレジジョン), 日吉 善久 (JAMSTEC)
- シンポジウム
 - 第 1 回 (6/22 東京大学生産技術研究所 S 棟プレゼンテーションルーム)
 - 「若手研究者による音響センシング」
 - 「Underwater acoustic technology for environmental sensing」 水野 勝紀 (東大生研)
 - 「Echolocating bats use future-target information for optical foraging」
(米国科学アカデミー紀要掲載論文) 藤岡 慧明 (同志社大)

「Seafloor geodetic constraints on interpolate coupling of the Nankai Trough megathrust zone」(Nature 掲載) 横田 祐輔 (海上保安庁海洋情報部)

第2回 (11/18 東京工業大学 蔵前会館ロイヤルブルーホール)

「広帯域送受波器の開発」 笹倉 豊喜 (アクアサウンド)
「広帯域アナログパワーアンプとデジタルパワーアンプの基礎と応用」 鵜澤 孝夫 (ソニック)
「高速アダマール変換を用いたM系列相関値計算の高速化」 大川 圭一 (防衛装備庁)
「医療用超音波画像診断技術の海洋音響への応用の可能性」 佐藤 智夫 (港空研)
「広帯域技術による水中音響機器の商品革新」 西森 靖 (古野電気)
「コウモリの広帯域音波の利用とその摂餌戦略」 藤岡 慧明 (同志社大)
「長期定点観測システムを用いたナガスクジラの低周波鳴音探知」 松尾 行雄 (東北学院大)

第3回 (11/22 東京工業大学 蔵前会館ロイヤルブルーホール)

「前方監視ソーナーによる潜水捜索ダイバーのための後方支援技術」 倉本 和興 (海保大)
「直交周波数分割多重を用いる水中音響通信における PAPR 対策」 田野井 弘夢 (筑波大)
「深海底の海洋資源探査に向けた AUV 搭載用のパラメトリックサブボトムプロファイラーの開発」 水野 勝紀 (東大生研)
「海底地殻変動観測の誤差要因と高精度化手法の検討」 横田 祐輔 (海上保安庁海洋情報部)

第4回 (1/24 防衛装備庁 艦艇装備研究所)

「艦艇装備研究所の概要説明」
「海洋音響関連研究の紹介 (光ファイバ受波器, 水中音響通信ネットワーク)」
「試験設備の見学 (極低背景雑音大型回流水槽, 大水槽, 衝撃実験装置)」

第5回 (2/6 東京工業大学 蔵前会館ロイヤルブルーホール)

2016 年度水中防衛技術学会 (UDT) 等報告
「MAST Europe 2016 総括報告及びソーナーシステム」 南利 光彦 (日立製作所)
「UUV」 唐木 繁 (石川製作所)
「UDT Europe 2016 総括報告等」 白銀 和浩 (JMU ディフェンスシステムズ)

○ 講演会

共催講演会 (大阪大学海事戦略研究イニシアティブ共催) (10/5 阪大吹田キャンパス)

「Marine mammal and ocean noise」

Dr. Shane Guan (The Catholic University of America)

「Noise and good environment status:the EU Marine Strategy Framework Directive」

Dr. Michel Andre (Universitat Politecnica de Catalunya BarcelonaTech)

○ 技術講習会

第26回講習会 (12/13, 14 東京工業大学 蔵前会館ロイヤルブルーホール)

主題: 海洋音響の基礎 (全般) テキスト: 海洋音響の基礎と応用

「音響の基礎」「ソーナー入門」「音源からの放射」

蜂屋 弘之 (東工大)

「反射・散乱と残響」「海中の雑音」「信号の検出と処理」「水中音響計測」

鎌田 弘志 (元会長)

○ 部 会

水中音響における可視化技術部会

第5回 (6/3 東京工業大学 蔵前会館小会議室)

話題提供

「超音波探傷における音響可視化について」

河野 尚幸 (日立製作所)

「海洋における音波伝搬の可視化 (続編)」

鶴ヶ谷 芳昭 (三陽精工)

第6回 (9/2 東京工業大学 蔵前会館小会議室)

話題提供

「水中構造物維持管理のための可視化技術」

虻川 和紀 (港空研)

「海洋音響トモグラフィ」

川崎 良道 (沖電気)

第7回 (12/16 東京工業大学 蔵前会館小会議室)

話題提供

「港湾監視システムと音響可視化」

小川 誠 (日本電気)

「水中画像化ソナー用音響レンズについて」

奥山 智尚 (防衛省)

部会報告書まとめ方の検討

第8回 (3/13 東京工業大学 蔵前会館小会議室)

話題提供

「各種音響レンズの特性」

土屋 健伸 (神奈川大)

「WI (Waveguide Invariant) の概念とその応用」

尾崎 俊二 (システム技研)

「音響トモグラフィとその応用」

太田 和彦 (金沢工大)

全周ソナーの標準データフォーマット研究部会

第1回 (9/12 東京海洋大)

話題提供

「計量魚群探知機におけるエコー積分処理」

甘糟 和男 (東京海洋大)

「各社の全周スキヤニングソナーのシステム紹介 (システム, 処理フロー, データフォーマット)」

奥西 哲 (古野電気), 佐藤 洋一 (ソニック), 福島 保夫 (JRC)

第2回 (12/16 東京海洋大)

話題提供

「ソナーの計量化」

古澤 昌彦 (東京海洋大)

「ソナー国際標準フォーマットに関する経緯」

白木 里香 (古野電気)

第3回 (3/13 東京海洋大)

話題提供

「HDF5 (Hierarchical Data Format) の紹介」

澤田 浩一 (水工研)

「IMR (Institute of Marine Research) からのフォーマットたたき台の検討」

前田 文孝 (東陽テクニカ)

第4回 (3/29 東京海洋大)

話題提供

「IMR からのフォーマットたたき台への意見調整」

澤田 浩一 (水工研)

「補正パラメータについて」

古澤 昌彦 (東京海洋大)

○ 日本海洋工学会

総会 1回 (第1回 1/17 海洋研究開発機構SIP連絡室)

理事会 1回 (第33回 1/17 海洋研究開発機構SIP連絡室)

運営委員会 3回 (第169回 6/30 海洋研究開発機構SIP連絡室, 第170回 10/21 海洋研究開発機構SIP連絡室, 第171回 1/17 海洋研究開発機構SIP連絡室)

海洋工学パネル 1回 (第48回 7/26 日大理工学部)

海洋工学シンポジウム 1回 (第26回 8/6~7 日大理工学部)

○ 委員会

企画運営委員会 4回 (4/18, 6/28, 11/14, 2/7 東大生研)

表彰委員会 3回 (11/4, 2/9, 3/27 東工大)

編集委員会 8回 (4/8, 6/8, 9/5, 10/14, 1/18, 3/9 東京海洋大), (7/8, 12/1 東工大)

平成 29 年度（2017 年度）表彰一覧表

○論文賞

- ・ 題目 深海用自動観測フロートによる南極域での音速構造長期モニタリング
- ・ 受賞者（所属） 後藤 慎平 （JAMSTEC, 筑波大学）
土屋 利雄 （JAMSTEC, 東京海洋大学）
- ・ 掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 42, No. 2, pp. 59-69, Apr. 2015

○中西賞

- ・ 題目 AUV搭載用のパラメトリックサブボトムプロファイラー開発と音響データの可視化手法の検討 - 1次波と2次波の減衰に関する考察 -
- ・ 受賞者（所属） 水野 勝紀 （東京大学）
浅田 昭 （東京大学）
片瀬 冬樹 （東京大学）
永橋 賢治 （東京大学）
浦 環 （九州工業大学）
原口 強 （大阪市立大学）
- ・ 掲載誌 海洋音響学会 2016 年度研究発表会 講演論文集, pp. 49-52, May 2016

平成29, 30年度 (2017, 2018年度) の評議員

通常会員の評議員 (50名) (選挙結果報告)

赤松 友成	西條 献児	深見 明久
浅田 昭	佐藤 隆一	藤本 治
甘糟 和男	澤 隆雄	松本 さゆり
飯田 浩二	澤田 浩一	水谷 孝一
石前 浩蔵	志村 拓也	水野 勝紀
今泉 智人	高尾 芳三	宮本 佳則
梅津 功	田中 正吉	向井 徹
海老原 格	土屋 隆生	村上 泰
太田 和彦	土屋 健伸	森 和義
小笠原 英子	土屋 利雄	森下 到
奥山 智尚	陶 良	屋内 伸治
尾崎 俊二	長澤 修宏	矢吹 哲一朗
越智 寛	中村 義行	山口 功
加藤 健太郎	西森 靖	横田 裕輔
菊池 恒男	野村 英之	吉武 宣之
倉本 和興	蜂屋 弘之	渡辺 好章
後藤 英親	飛龍 志津子	